

【地域未来デザイン工学科 バイオ食品工学コース】

*コース移行は本人の希望と2年前期までの成績を考慮し決定

こんな人にお勧め

工学的視点から地域の1次産業の発展を支える技術者になりたい

人間性と社会性を兼ね備えた、バイオテクノロジーや食品の研究者になりたい

将来地元に戻って地域の特産を活かすバイオ食品技術者として働きたい

将来、食品分野で地元で起業して、大好きな地元を元気にしたい

食品衛生管理者や食品衛生監視員として、食の安全安心を守りたい

バイオ食品工学の知識を生かして、食品の開発をしたい

入学

地域未来デザイン工学科

基礎教育			専門教育：バイオ食品工学コース					
1年		2年		3年		4年		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学科所属			コース配属				研究室配属	
基礎・教養・基礎専門 導入科目			専門コア		専門I	専門II 卒業研究	卒業研究 専門III	
<ul style="list-style-type: none"> 工学基礎学力の向上と柔軟な発想力と広い視野を強化 <ul style="list-style-type: none"> 工学専門分野を学ぶ上で必要となる、数学、物理、化学といった工学基礎科目を充実 国際社会で活躍するための能力を育成するための科目を充実 柔軟な発想や特定の専門分野に偏らない幅広い視野を育成するリベラルアーツ科目を充実 主体的に「学ぶ力」や多面的・融合的かつ協働的に「考える力」を修得 工学技術者としての倫理観や職業観を修得 学部・コースの教育目標および専門分野の理解と学習意欲の向上 			<ul style="list-style-type: none"> バイオ食品工学に関する基礎学力と問題解決能力の育成を重視 有機・無機化学、生物工学、食品工学等に関する基礎・応用科目、関連する周辺分野の科目や実験を配置 オホーツク地域をモデルとして総合的に俯瞰した上で、化学を基盤とするバイオテクノロジーおよび食品工学分野の専門知識を学習 地域の素材や食品産業等における課題へのバイオ技術の応用により未来を見据えて地域社会をデザイン・活性化できる能力を備え、国際的にもバイオ食品工学分野で活躍できる人間性・社会性を備えた技術者としての能力を修得 			(指導教員専門分野) <ul style="list-style-type: none"> バイオ系 化学系 他専門分野系 		
<ul style="list-style-type: none"> ◎資格取得に必要な選択科目等 								
【特徴】 <ul style="list-style-type: none"> 基礎教育の充実、アクティブラーニングの充実、科目ナンバリング制導入 他コースの科目も履修可（広い視野と多面的・融合的思考力の育成） 学部・大学院の連続性、接続性を重視したカリキュラム編成 								
基礎教育			専門教育：機械知能・生体工学コース					
基礎教育			専門教育：情報デザイン・コミュニケーション工学コース					
基礎教育			専門教育：社会インフラ工学コース					
基礎教育			地球環境工学科 各専門コース					

卒業

卒業後の主な進路

北見工業大学大学院
博士前期課程

地方・国家公務員

北見市役所、帯広市役所、旭川市役所、中札内村役場、北海道警察、北海道庁、岩手県立森岡工業高校

製薬・薬品販売

ニプロ、ヒノキ新薬、ムトウ

食品・飲料等製造業

日糧製パン、イオン北海道、北一食品、サイゼリア、北海道糖業、雪国まいたけ、みちのくココ・コーラボトリング、アークス

建設業

前田道路

印刷

凸版印刷

農業・林業

きたそらち農業協同組合

農業機械

ヤンマーアグリジャパン

育成能力

- バイオテクノロジーや食品工学に関わる基礎知識とそれを応用する能力、及び広い分野の基本的知識を有する
- 国際社会に適応可能なバイオテクノロジーや食品工学に関わる語学力とコミュニケーション能力を有する
- 人間性、社会性、および倫理観を兼ね備えた技術者として、現在あるいは未来の課題を主体的に解決し、社会貢献できる

養成人材像

- 有機・無機化学、生物工学、食品工学等に関する基礎知識、並びに、化学を基盤とするバイオテクノロジーおよび食品工学分野の専門知識を有し、地域や社会における素材や食品産業等における課題へ対応するための幅広い教養と倫理観、危機管理能力、情報収集能力、論理的思考力、語学力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を有する人